

校長あいさつ

令和4年度がスタートしました。新型コロナウイルス感染症は第6波が終息しないまま新規感染者が再び増加傾向にあります。しかし、コロナについてよく分からなかった1年前とは違い、特性や対処法も少しずつ分かってきました。また、ワクチン接種も3回目が進んできて、国の対策もこれまでとは少しずつ変化していきそうです。近い将来、子ども達の笑顔が溢れる学校生活が戻ってくることを願っています。

滝山小学校のホームページをご覧ください、ありがとうございます。

新型コロナウイルスの終息まで教育活動への様々な制限が今しばらく続きそうですので、このホームページを情報発信の機会・場として考え、今、できることを精一杯に取り組む子どもたちの様子を中心に、本校の教育活動についてお知らせしてまいります。

さて、本校の学区である滝山地区は、霊峰「瀧山」の山裾に広がっていますが、西蔵王高原、千歳山、戸神山などの山々、竜山川、恥川の清らかな流れなど、豊かな自然環境に恵まれた地区です。さらに、陶芸の里「平清水」や東北芸術工科大学などを抱え、文化・学術の薫り高い地区でもあります。また、卒業生には、スピードスケートの加藤条治さん、絵本作家の荒井良二さん、馬場馬術の原田喜市さんをはじめ、多方面でご活躍なさっている方々が大勢いらっしゃいます。

このような地区にあって、明治23年(1890年)4月、滝山尋常小学校として創立されたところから、本校の歴史が刻まれ始めました。それ以来、地区や保護者の皆様方からの温かいご支援を受けながら、歴代の教職員とその時その時の児童が一緒になって学校文化を構築・継承・発展させてきました。その積み重ねの上に、132周年を迎える今年度も、また新しい滝山小の歴史をしっかりと刻んでいければと考えております。

令和4年度は全校児童665名、28学級でのスタートです。昨年度より『やさしく かしこく たくましく』の具体的なめざす子ども像を、

「やさしく」… 自他を尊重し、相手を思いやり、共に生きる子

「かしこく」… 予想を立て、筋道を通して考え表現し、確かめる子

「たくましく」… めあてを持ち、進んで取り組み、自分の力を高める子

と掲げ、広く地域を学ぶことで地域のよさを知り、「私たちの地区・滝山」という誇りと自信を持たせながら、【「子どもの育ち」を真ん中においた学校づくり】を進めていきます。

教職員一同、「チーム滝山」として、子どものおもい・願い・可能性を十分に引き出し、寄り添っていくように努めますので、保護者並びに地域の皆様、関係機関の皆様には、これまで同様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

山形市立滝山小学校
校長 吉田 健志